

教育行政 執行方針



本市では、いわゆる「財政健全化法」による「財政再生団体」回避が最大の課題であり、「財政健全化計画」にもとづく財政改革の着実な実施が求められることとなり、教育委員会所轄の各種施設の維持・管理や事務局の組織体制及び事務、事業の見直しなどに引き続き積極的に取り組んできました。

こうした厳しい状況の中でも、市内の各小・中学校においては、各種教育活動に果敢に取り組み、着実に成果をあげてまいりました。

教育委員会としては、豊かな生涯学習社会の実現をめざし、未来に生きる赤平の子どもたちはもとより、市民の皆さんが快適な環境のもとで、充実した人生を送ることができるよう各種の取り組みを進めてきたところです。

平成20年度の成果と反省に立つて、赤平の教育の一層の充実・発展をめざし、地域の皆さんの信頼を高めるため、平成21年度の教育行政執行方針を示すものです。



渡邊敏雄教育長

ひとりひとりの子どもたちに「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体力」を育む
学校教育の充実に努めます

学校教育のねらいは、子どもたちに確かな学力をつけ、生涯にわたってたくましく生きる力を育むことにあります。基礎的、基本的な知識の定着はもとより、一人ひとりの特性に応じ、きめ細やかな指導を通して、心身ともに調和のとれた豊かな人間性の育成に努めなければなりません。

昨年、新学習指導要領が告示されましたが、本格実施に向けた移行措置を進めるとともに、学校図書や教材・教員の整備充実と指導方法の工夫等、授業の改善を目指す取り組みを進め、児童・生徒の発達段階と地域性に配慮した知育・徳育・体育の調和のとれた教育課程の編成を図ります。あわせて、耐震化を含めた安全な校舎環境の整備に努めます。

特別支援教育

各学校ではコーディネーターの配置を含む校内組織の設置や「個別の支援計画」の策定などに取り組んできたところであります。一人ひとりの子どもの特性を

みきわめ、特別支援教育の一層の充実をめざし、交流教育や合同学習を通して取り組みます。

幼稚園教育

公立幼稚園としては、管内でも大きな幼稚園であり、広々とした環境の中で、3歳児保育を含めた適切な教育が実施されています。今後とも幼稚園教育の一層の充実をめざし、職員一丸となって取り組むよう指導していきます。

学校給食

児童・生徒の健全な心身の発達に資する学校給食の役割は極めて大切です。食育の重要性が叫ばれている中、栄養のバランスに配慮し、子どもたちに喜ばれる、安全、安心な給食の提供に努めます。

また、食の安全確保から国産道内産の食材をできる限り使用することを基本に、地産地消を併せ献立を工夫することで値上げを押さえてきましたが、引き続き努力してまいります。

生徒指導

一人ひとりの個性を磨き、確

かな社会性と自己実現を図ることのできる生徒指導の充実
は重要な課題であります。

いじめ根絶はもとより、不登校の解消、問題傾向をかかえる児童・生徒の早期対応、問題発生の機敏な対応など、教職員と児童・生徒の日常的な触れ合いや心の交流を大事にしながら信頼関係を確立し、積極的な生徒指導を通して対応してまいります。

特に、いじめに対する対応については、子どもの苦痛をしっかり受けとめ、いじめられていた側にはたつて観察、相談、指導体制を整えること、日常的に好ましい学級づくりの心がけ、子どもたちの交友関係を風通しのよいものとするところであります。『明るく、元気で、楽しい学級づくりが、いじめ根絶の切り札である』との共通認識にたち、学校への指導を強めてまいります。

また、子どもの安全・安心の確保は今日的な重要課題です。事件・事故に巻き込まれることのないよう安全指導の充実に努め、保護者や地域の方々、関係機関との連携を密にし、学校支援地域本部事業を活用して登・下校時の安全確保の体制づくりを進めます。あわせて、日常の安全教

育を徹底し交通事故の防止に努めます。

教職員の研修と資質向上

学校教育に直接携わっている教職員の役割は極めて重要であり、教職員一人ひとりが日常の子どものかわりを通して生活実感を共有し、広く社会性を身につけ、地域に根ざした教育を進めなければなりません。このため、教職員は、絶えず研修の重要性を認識し、専門性を高めることが重要であると同時に、豊かな人間性の確立に努めなければなりません。

教職への愛着と誇りを確かなものとし、情熱あふれる教職員の育成・指導に努めてまいります。

心豊かに学習し、充実した人生の創造をめざす 社会教育の推進に努めます

市民が心豊かに学習し、充実した人生の確立をめざす社会教育の推進は、少子・高齢化が進む現在、極めて重要であり、積極的な事業展開が求められています。本市の社会教育目標である「ゆとりある人生を求め、生涯にわたり楽しく学び、みんなでつくるわたしたちのまち」の実現をめざし、積極的な取り組みを進めます。

本市の厳しい財政状況から、公民館の休館、郷土館の廃館に加え、昨年度は、文化会館、スポーツセンター、武道館の全面休館など関係者のご理解を得ながらすめてまいりました。今後は、体育関係につきましては、総合体育館、社会教育関係につきましては、交流センターみらい、東公民館に集約し、利用者のご理解を得ながら効率的、効果的な管理、運営に努めてまいります。



青少年教育

事業の拡大と指導者養成、体験学習の促進をねらいとして、引き続き青少年健全育成事業、ふるさと少年教室などの充実をめざします。

また、子どもたちを事件・事故から守り、安全、安心を確保するため、青少年センターを中心とし、地域住民との連携を図

り、登・下校時のパトロールをはじめ各種の取り組みを進めます。特に、子どもの虐待などの諸課題についても、関係機関との連携を密にして取り組んでいきます。

成人・女性・高齢者教育

生涯を通して、豊かで充実した人生の創造は、常に学びの姿勢をもつことが基本となります。公民館講座、趣味・教養講座などの学習機会の積極的な活用、また、人材バンクを含めた指導者の発掘・養成など、地域社会に密着した学習機会の充実に努めます。

芸術・文化の振興

市民が芸術・文化に親しみ、ゆとりとふれあいを大事にします。各種イベントを中心に、文化教養事業を奨励するなど、市民の文化への理解と関心を高め、文化協会と連携し、地域に根ざした特色ある芸術・文化の振興に努めます。

読書活動振興と 図書館運営

市民が親しみ、利用しやすい図書館をめざし、図書ならびに各種情報の整備、充実を図ってまいります。また、「子ども読書活動推進計画」にもとづき、学

校教育はもとより子どもたちが一層読書に親しむことができる環境づくりに取り組んでまいります。「ブックスタート」、「絵本読み聞かせ」事業については、引き続き取り組み、内容の充実に努めます。

市民の健康増進を めざしたスポーツの振興

心身ともに健康で豊かなライフスタイルを築く「生涯スポーツ社会」の実現をめざし、健康づくり、体力づくりをはじめ、年齢、体力、技術に応じた多様な競技スポーツ、レクリエーションスポーツ活動を支援してまいります。また、スポーツ関係団体との連携を密にし、指導者の育成と体育協会の自主運営を促進します。

学校・家庭・地域の連携のもと、 教育の総合力で、活力ある 地域社会の創造に努めます

赤平の教育は、「地域に信頼される赤平の教育を創ろう」をテーマに取り組んできました。学校は、地域の学校であり、地域のイベントに市内の全小・中学校が積極的に参加することで教職員が地域の住民であることの自覚が参加を通じて確実に芽生えてきています。開かれた学校をめざし一層の充実した取り

組みを進めます。

赤平市教育研究推進協議会は、信頼される赤平の教育づくりの中心的な役割を担い専門性を高めるための教育研究はもとより、地域のイベントへ積極的にかわつていきます。赤平の子どもたちを中心に据えた活動で、今後も一層の充実、発展をめざします。



赤平高校再生

一時、存亡の危機にたたされた赤平高校は、高校自らの各種の取り組みを通して確実に自信をつけ信頼回復に努めています。中卒者の大幅減少などで依然として厳しい状況下にありますが、市民の高校存続への盛り上げを図り、存続の運動をより一層強力に展開してまいります。